

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第15週 平成16年4月5日(月)～平成16年4月11日(日)

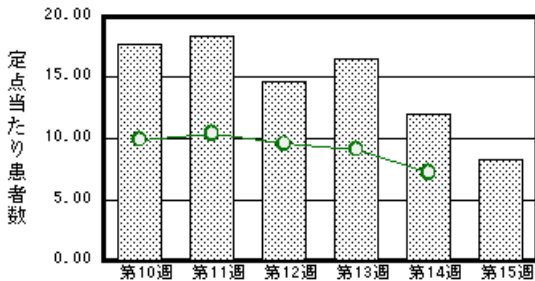
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

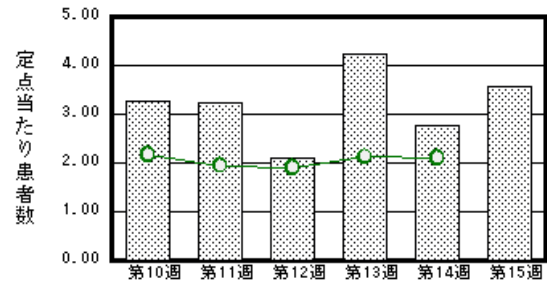
注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎 (191名) 水痘 (82名) 流行性耳下腺炎 (50名) 突発性発しん (31名) A群溶血性連鎖球菌咽頭炎 (13名)
- 【風しん】県内の患者報告はありませんが、全国的には、一部の地域において患者報告数が多くなっています。免疫のない女性が妊娠初期に風しんに感染すると、出生児に先天性風しん症候群を発生することがあります。風しんを予防するにはワクチンが効果的です。特に妊娠予定があり 予防接種を受けておらず、風しんにかかったことのない女性は、予防接種を受けましょう。予防等詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/kakotopics/kakotopics/fuusinn/fuusinn.html>
- 【感染性胃腸炎】前週に引き続き患者報告数は減少しましたが、引き続き注意が必要です。また、3月19日及び24日に病原体定点で採取された2検体からロタウイルスが検出されました。手洗いや食材の十分な加熱を心がけ、感染予防に努めましょう
- 【高病原性鳥インフルエンザ】佐賀県のホームページをご覧ください。
http://www.pref.saga.jp/shigoto/chikusan/tori_inf/tori_inf.htm

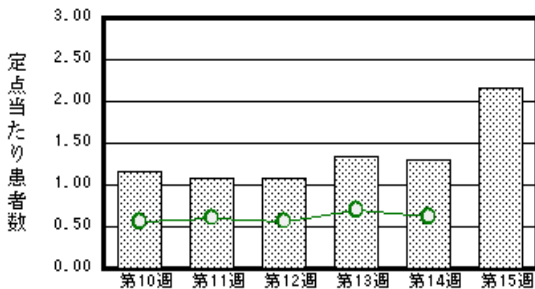
感染性胃腸炎



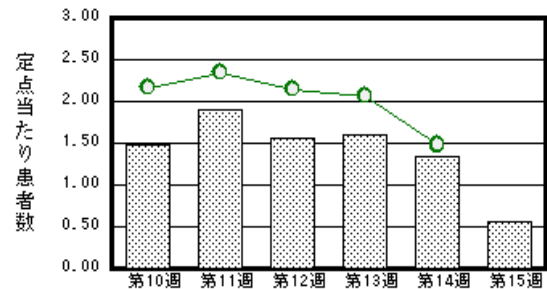
水痘



流行性耳下腺炎



A群溶血性連鎖球菌咽頭炎



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。<http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2004年第13週号 (3月22日～3月28日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第13週 > 風しんの定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 風しん > 第13週の定点当たり報告数は、感染症法施行 (1999年4月) 以降の最高値である
・ 病原体情報	患者から分離 検出された病原体報告 - 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン / インフルエンザウイルス2003/04シーズン
・ 速報	< 今週は該当記事はありません >
・ 海外感染症情報	< 今週は該当記事はありません >
・ 感染症の話	< E型肝炎 > 経口伝播型非A非B型肝炎とよばれてきたウイルス性の急性肝炎で、その病原体はE型肝炎ウイルス (HEV) である

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。<http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	E型肝炎 (四類感染症)	
患者	1名 (50歳代)	
平成16年届出累計	1名	
平成15年	同 期	0名
	届出累計	0名

E型肝炎については、佐賀県感染症情報センターを御覧ください。

<http://www.kansen.pref.saga.jp/kakotopics/kakotopics/hev/index.htm>

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成16年第15週 平成16年4月5日 (月)~平成16年4月11日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第14週)
小児科 (23)	インフルエンザ (39) (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	2 0.15		2 0.29	2 0.40	2 0.22	8 0.21	15 0.38	2953 0.63
	RSウイルス 感染症								76
	咽頭結膜熱	1 0.13					1 0.04	7 0.30	824 0.27
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	4 0.50	1 0.33	4 1.00		4 0.80	13 0.57	31 1.35	4493 1.48
	感染性胃腸炎	31 3.88	29 9.67	64 16.00	8 2.67	59 11.80	191 8.30	275 11.96	22020 7.24
	水痘	23 2.88	22 7.33	11 2.75	5 1.67	21 4.20	82 3.57	64 2.78	6380 2.10
	手足口病		4 1.33	1 0.25			5 0.22	3 0.13	131 0.04
	伝染性紅斑							2 0.09	1125 0.37
	突発性発しん	9 1.13	3 1.00	14 3.50	1 0.33	4 0.80	31 1.35	24 1.04	2100 0.69
	百日咳			1 0.25			1 0.04		26 0.01
	風しん								183 0.06
	ヘルパンギーナ		3 1.00			1 0.20	4 0.17	3 0.13	155 0.05
	麻しん (成人 麻しんを除く)								45 0.01
流行性耳下腺炎	8 1.00	7 2.33	24 6.00	1 0.33	10 2.00	50 2.17	30 1.30	1898 0.62	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								22 0.03
	流行性角結膜炎	2 1.00					2 0.50	5 1.25	546 0.86
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								9 0.02
	無菌性髄膜炎								11 0.02
	マイコプラズマ肺炎		1 1.00				1 0.17	1 0.17	55 0.12
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								2 0.00
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は13週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 五類感染症)

平成16年第15週 平成16年4月5日(月)~平成16年4月11日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満					2			2						6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満				19	5			26	1		1			12ヶ月未満								
1歳	2	1歳				46	19	1		3			3		4	1歳								
2歳		2歳			2	28	13	1							4	2歳								
3歳		3歳			2	27	15	1							8	3歳								
4歳		4歳			1	19	12	1							6	4歳								
5歳		5歳			3	15	4								7	5歳					1			
6歳		6歳			1	6	4								9	6歳								
7歳	1	7歳				6	3	1							6	7歳								
8歳		8歳			2	7	1								2	8歳								
9歳		9歳		1	1	5	3								1	9歳								
10歳~14歳	1	10歳~14歳			1	6	1								3	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳														15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上				7										20歳~29歳								
30歳~39歳																30歳~39歳		1						
40歳~49歳	2															40歳~49歳								
50歳~59歳	1															50歳~59歳		1						
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上	1																							
合計	8	合計		1	13	191	82	5		31	1		4		50	合計		2			1			
前期計	15	前期計		7	31	275	64	3	2	24			3		30	前期計		5			1			
当期間/前	0.53	当期間/前	***	0.14	0.42	0.69	1.28	1.67		1.29	***	***	1.33	***	1.67	当期間/前	***	0.4	***	***	1	***	***	***
増減数	-7	増減数		-6	-18	-84	18	2	-2	7	1		1		20	増減数		-3						

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

